

## 1 学期学校評価結果のお知らせ

朝夕は幾分しのぎやすくなりましたが、日中の暑さはまだまだ厳しいこの頃です。保護者の皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、学校では、1学期末に学校経営方針に沿った教育活動がどの程度達成されているかの評価（学校評価）を教職員で行いました。その結果をお知らせします。また、その結果をもとに保護者の皆様方にもアンケートにお答えいただく形式で評価（外部評価）をお願いしたいと考えております。お忙しいこととは存じますが、長峰小学校の教育がより充実しますよう、ご協力をお願いいたします。

### 1. 評価内容・方法

教職員による評価は、①学校教育目標に関して ②経営の重点に関して ③長峰小マイプランの具体的な観点による質問項目を4段階【4：十分達成できた 3：だいたい達成できた 2：あまり達成できなかった 1：達成できなかった】で評価し集計しました。そして、各項目についての成果を確認し、達成が不十分なものについては今後の改善策を検討しました。

ご報告は、学習・心・元気プロジェクトの3つの視点でさせていただき、その中で評価や分析を載せていきます。

### 2. 前半の成果と課題【評価結果と考察】

◆分析の文中に出てくる番号は、教職員に対する評価項目番号です。プリントの最終ページに評価項目がありますので、ご参照ください。また、各部会ごとにまとめ方が違うことをご了承ください。

#### 【学習プロジェクト】

##### ◇学習プロジェクト

一昨年度から取り組みを始めたプロジェクトですが、掲示板に現在の取り組みの様子を掲載してきました。子どもたちや保護者の方々からも、全体の取り組みの内容がよくわかる等の声が寄せられています。2学期以降も継続して推進していきますので、学校にいらっしゃったときには、ぜひプロジェクトの掲示板をご覧ください。プロジェクトの概要は、長峰小ホームページに掲載されていますので、ご確認ください。

学習プロジェクトの一環として行われた1学期末漢字・計算テストの結果は、これまでの最高の結果となりました。夏休みに入るまでに90点以上をとった子どもが、漢字90%・計算93%でした。初めて漢字・計算とも90%を超えました。回数を重ねてきて、粘り強く繰り返し挑戦する子どもが増えてきました。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。取り組みの1つである長峰小授業中のルール5(学習の約束)は、定着の度合いを検証したところ、各学級での取り組みにまだばらつきがあることが分かりました。改めて意図を共通理解し、落ち着いて生き生きと学習できるように、2学期以降定着を図っていきます。

2学期に取り組む予定の学習プロジェクトは、読書週間に合わせた読書の充実、2学期末漢字・計算テスト、長峰音読ハンドブックの活用、問題解決学習の充実、体験学習(本物との出会い)の充実を図っていきます。

また、今年度の取り組みで「辞書の活用」があります。意識的に辞書の活用に取り組んでいる学級では、調べた辞書のページに付箋をつけるなど、子どもの意欲向上につながっています。今後、辞書の学習が始まる3年生以上には自分の辞書を持たせたいという話も出ています。

##### ◇基礎・基本の定着

教職員の評価では、3・4・15・18・19の項目が高得点をあげています。各担任が、基礎・基本の定着に意識して取り組んできた成果だと思われます。今後もさらに定着を目指していきたいと思えます。さらに、学校では日々の学習指導を振り返り、夏期休業日の間に授業改善推進プランの作成を行いました。2学期以降は、授業改善推進プランをもとに指導のあり方を改善し、学習内容定着のためのよりよい方法を考えていきます。また、学習指導の支えとなる年間指導計画や週案等の作成、意図的・計画的な実施を今後も続けていきます。

##### ◇音読の工夫

教職員の評価では、25の得点はあまり高くありませんでした。長峰音読ハンドブックを活用した音読練習は、学校経営方針にも明記されていることなのですが、まだ全校的な取り組みに至っていないことが分かりました。学校評価で改めて進め方の共通理解を行い、2学期以降、全学級でしっかり取り組んでいくことを確認しました。継続的に音読学習を取り入れている学級では、音読を通して発音がよくなってきた、集中力・暗記力がついてきたという成果がみられています。また、毎日の音読の家庭学習も、全校統一して各学級で行うことも確認しました。ご家庭でのご協力をお願いします。

##### ◇習熟度別学習(算数)

教職員の評価では、20の項目で高得点をあげています。習熟度別に学習することにより、基礎・基本が確実に定着されてきています。特に3年生は初めて習熟度別学習に取り組みましたが、やり方に慣れてきたのではないのでしょうか。また、基礎のコースの子ほど成果が上がっており、習熟度別学習のよさが表れていました。5年生が7月に実施した都の学力調査でも算数は稲城市の平均よりもかなり上回っており、習熟度別でじっくり学んでいる成果が表れていました。2学期以降も、分かる喜びを通して学習に意欲的に取り組める子どもを育てていきます。

#### ◇問題解決的学習

教職員の評価では、22の得点はあまり高くありませんでした。問題解決的な学習は、本年度から完全実施されている学習指導要領の核である、習得した力を「活用」する学習です。1学期の取り組みはやや不十分でしたので、2学期以降、積極的に取り入れていくよう確認しました。

#### ◇外国語活動・英語活動

教職員の評価では、24はやや低い得点となりました。高学年は、担当の先生を中心にALTの活用や英語ノートを用いての授業を展開してきましたが、低・中学年の取り組みが2学期が中心になるので、このような結果になったと思われます。高学年では、ALTの先生と積極的にコミュニケーションをとり、楽しんで活動に参加している子どもの様子が随所に見られます。2学期以降も、内容の充実を図るよう努力していきます。

#### ◇地域を生かした学習・本物との出会い・体験活動

項目14・21・23の教職員の評価は、あまり高くありませんでした。地域を生かした学習のメインは2学期になること、新しい人材の発掘は一朝一夕にはいかないことが、要因として考えられます。2学期に成果をあげられるよう、しっかり準備していきたいと考えています。なお、1学期に取り組みを行った学年は、大きな成果をあげています。また、学習に取り入れられそうな人材をご存じでしたら、ぜひ学校までお知らせください。もちろん、学校でも意識して人材開発に努めていきます。

#### ◇ホームページ

ホームページの更新は、定期的に行うことができました。多くの子どもや保護者の方々が関心をもって見てくださっているのが嬉しいです。ご意見・ご感想をお寄せください。今後もどの学年も月1回は更新できるよう努力していきます。

#### ◇話す力・聞く力の育成

教職員の評価では、8はやや低い得点になりました。各学年・学級等で工夫をした取り組みはしていますが、成果がもう一つ見られないのが現状です。「聞く・話す」は、今年度の校内研究のテーマでもあり、各学年で研究授業を通して手立てを考えています。研究の成果が児童の姿に反映できるよう努力していきます。

#### ◇多様な教材、学習活動・形態の工夫・日常化

教職員の評価では、10はやや低い得点になりました。どの学級でも、週の計画をしっかり立て、きちんと教材研究して授業に臨んでいます。若い先生も多く、まだ十分ではありません。若手育成研修会やOJTを推進し校内での研修の体制を整え、授業力向上に努めていくようにしていきます。

### 【心プロジェクト】

#### ◇心プロジェクト

心プロジェクトは、言葉遣い指導、あいさつ指導、規範意識の定着のための振り返りカードの実施、集団登下校、安全マップ作り、交通安全教室、自転車教室、セーフティ教室、トライ&チャレンジなど、1学期にすべきことを確実に実践してきました。まだ、課題は残りますが、2学期以降も時期に合わせて適切な指導をしていきます。

いくつか成果が上がっている活動を紹介します。委員会活動専用の掲示板には、子どもの活動がよく見えています。5・6年生がしっかり自分の役割を果たし自主的・積極的に活動する姿が見られています。また、縦割り班活動による遊びや清掃も軌道に乗ってきています。1年生も上手に縦割り班の中に入り、元気に遊び、清掃も一生懸命行っています。やはり、高学年のリーダーシップ育成や遊びを通しての人間関係作り、心のつながりづくりに縦割り班活動は有効であると再確認しました。

上級生が下級生に対して穏やかに接したり、下級生が上級生に対して壁を作らずに接したりする雰囲気は、ここ数年継続して見られます。児童が年齢を超えて互いの良さを感じ取りながら活動することは、学校の教育課程を円滑に実施するために欠かせないと考えますので今後もこれらの活動を続けていきたいと思えます。

#### ◇あいさつ指導

教職員の評価では、29は高得点をあげました。多くの子どもたちが気持ちのよいあいさつができるようになってきています。また、火曜日の児童朝会の時に6年生が代表であいさつをする取り組みを行っています。6年生は全校の前で本当に大きな声であいさつをしてくれています。6年生がよいお手本になっていることも大きくお影響していると思います。また、地域や保護者の方、民生委員の方々が、毎朝正門で子どもたちにあいさつをしてくださっていることも効果が上がっている要因の一つになっています。本当にありがとうございます。あいさつ指導は、継続していないとすぐにできなくなってしまうので、今後も日常的に指導していきます。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

#### ◇規範意識

教職員の評価では、11はやや低い結果となりました。教職員が一致した指導体制や、毎月の振り返りカードの実施等から、少しずつ改善されてきているものもありますが、言葉づかいや廊下の歩行、時間を守ることに課題が残っています。言葉づかいや廊下の歩行などの決まり、時間を守ることをきちんと教えて守らせていくように全校体制で指導していきます。

#### ◇トライ&チャレンジ

教職員の評価では、30はやや低い結果となりました。1学期のトライ&チャレンジ月間は、自分でめあてを決めて取り組む活動なのですが、長峰フェスティバルなどにも重なり、取り組む時間に余裕がなかったことも低い結果の要因になりました。時期的にずらすのは難しいので、めあてのめたせ方や取り組みせ方の工夫をすることで改善を図ってきたいと考えています。

◇安全管理

教職員の評価では、16・31はとても高い結果となりました。今後も安全管理に十分配慮していきたいと考えています。今後もよろしくお願いいたします。

◇特別支援教育

特別支援校内委員会をおき、毎月支援対象の児童についての理解を図ってきています。教職員の評価28は、やや低い結果になっているのですが、今後改善が図れるようにしていきます。

また、児童理解を深めるために6月に教育相談全体会を行い児童の情報交換を行いました。8月には講師を招いて特別支援教育の研修会を開きました。

◇道徳授業

教職員の評価では、12は低い得点になりました。しかし、毎週の授業計画をもとに、どの学級でもしっかり毎週取り組んでいます。道徳は、授業をすればすぐに子どもの行動として成果が見られるわけではないので、低い評価になりがちです。そこで、確実に1時間の道徳授業を積み重ねていくことで、道徳的心情を高め、実践力として表れるようになっていくことが大切になります。今後も確実に道徳授業が実践されていくよう計画的に進めていきます。また、道徳授業地区公開講座を年1回実施しており、地域・保護者の方々に道徳授業を参観していただく機会を設けています。ぜひご来校いただき、ご意見をいただければと思います。

◇国際理解教育

教職員の評価では、13は高い得点になりました。国際理解教育は、全教育活動で行われるものであり、各教科の学習の中で出てくることもあれば、朝の会等の話の中に触れられることもあります。各担任がアンテナを高く張り、全教育活動の中で子どもの成長に合わせ、国際理解教育を推進していくようにしていきます。

◇長峰フェスティバル

今年度も土曜日の実施でした。より多くの保護者、地域の方にご来校いただき、児童の様子をご覧頂けたと思います。今年度も子どもたちが自主的に活動する姿が十分に見られ、計画通りに実施できました。今後も長峰フェスティバルは、長峰小学校の伝統として継続していきます。

【元気プロジェクト】

◇元気プロジェクト

元気プロジェクトは、時期に合わせ、プロジェクト掲示板で運動のめあてを載せるようにしてきました。また、外遊びの啓発を行うことによって、元気に外で体を動かす子どもが多くなっています。教職員の評価でも27の項目は高くなっています。1学期に実践してきたことをご紹介します。

◇水泳指導

子どもの意欲を喚起する目的で、元気プロジェクトの掲示板を活用し、本校の水泳のめあてを掲示しました。水泳指導の終わりには、長峰小記録として、各種目での本校のベストタイムを掲示します。

◇食育

教職員の評価では、32は高い評価となりました。今年度からお弁当の日を新しく設定し、子どもたちは色とりどりのお弁当を青空の下で楽しく食べることができました。学年に合わせめあてを決め、ご家庭にご協力を得た成果が見られました。ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

保健給食委員会の栄養黒板の取り組みも充実しています。多くの子どもたちが、今日の給食の食材を見て話をする姿が見られています。また、給食中に食に関する話を放送で入れたり、給食・美化委員会の取り組みで給食完食カレンダーの取り組みを行ったりしています。特に給食完食カレンダーは、子どもたちのやる気につながり、成果を上げました。

◇熱中症予防講演会

今年度も熱中症予防講演会を7月の夏休み前に行いました。今年の7月は非常に暑く、講演会を夏休み前に実施してよかったと思っています。

◇外遊びの日常化・名人になろう

外遊びの日常化として一昨年度末から取り組み始めた「名人になろう」は、教員が検定を見切れないという現状があったため、今年度は体育委員会の子どもたちを中心に週間の検定期間を設けて実施しました。検定期間中は、とても多くの子どもが検定に挑戦する姿が見られました。また、新年度に検定内容のカードも配布しました。子どものやる気は十分にあるので、2学期以降も上手に行事の合間を縫って検定期間を入れようと計画しています。さらに、2学期以降、新しい遊びの提案を行う予定です。

◆今年度も、教育目標具現化のために学習・心・元気プロジェクトを推進してきました。教職員による評価の結果を真摯に受け止め、評価項目の1～6が、さらによい結果となるよう、教職員一丸となって2学期以降の改善を目指していきます。

以上が、1学期末に学校の職員で行った学校評価の主な内容です。保護者の皆様方には、これらをお読みいただき、ご意見をお寄せいただきたいと思います。別紙の外部評価アンケートのご記入をぜひお願いいたします。

平成23年度 1 学期学校経営方針に基づく評価 評価項目

学校の教育目標に関して（目指す児童像と合わせて）	
1	「元気な子」の育成を図ることができた。
2	元気プロジェクトは、計画通りに推進され、成果をあげることができた。
3	「進んで学ぶ子」の育成を図ることができた。
4	学習プロジェクトは、計画通りに推進され、成果をあげることができた。
5	「思いやりのある子」の育成を図ることができた。
6	心プロジェクトは、計画通りに推進され、成果をあげることができた。
経営の重点に関して	
7	基礎学力を身につけさせる徹底した指導ができた。
8	話す力・聞く力の育成を図ることができた。
9	かかわりを大切にする心の育成を図ることができた。
10	多様な教材、学習活動・形態の工夫・日常化を図ることができた。
11	規範意識の育成を重視した指導で、自立的な生活態度の育成を図ることができた。
12	道徳の授業を通して、道徳的心情、判断力、実践力の育成を図ることができた。
13	自国文化の尊重と国際社会の一員としての自覚を発達段階に応じて指導することができた。
14	地域性を生かした本物(人材)を活用し(発掘に努め)、積極的に学習に活用することができた。(本物との出会い)
15	授業力アップに努めることができた。
16	校内美化と安全対策の充実に努めることができた。
具体的観点・長峰小マイプランの具体化3観点に関して（除く重複項目）	
17	年間指導計画・週案に基づく実践と評価を行うことができた。
18	朝の時間(基礎学習の時間)を有効に使って基礎・基本の定着に努めた。
19	子どもに基礎・基本の定着を図ることができた。(1学期の段階で)
20	習熟度別学習(少人数指導)や専科学習の充実を図ることができた。
21	地域を生かした学習を推進することができた。
22	問題解決的な学習を積極的に取り入れた授業を行うことができた。
23	目的をもって主体的に学ぶ経験(体験活動)を積ませることができた。
24	外国語活動・英語活動の充実を図ることができた。
25	日常的な音読指導(ハンドブック・宿題)を継続して進めることができた。
26	高学年が低学年の手本になる伝統作りを進めることができた。
27	運動・外遊びの習慣化を図ることができた。
28	特別支援教育の推進を図ることができた。
29	あいさつの習慣化を図ることができた。
30	トライ&チャレンジを積極的に推進することができた。
31	校内・校外における安全確保に努めることができた。
32	食育(食を大切にする心・正しい食習慣)を積極的に推進することができた。
33	学年・学級経営案・週案を通して、計画的に指導を進め、自己の教育活動を振り返ることができた。
34	家庭、地域との連携による教育の推進をすることができた。
35	授業力向上を目指した研究・研修に努めることができた。

平成23年度 学校経営方針に基づく評価

